

平成 29 年度学校保健委員会

平成 30 年 2 月 8 日（木）14:00～
大阪府立住之江支援学校 図書室

次第

開会

1. あいさつ
2. 委員紹介
3. 規約改定について
4. 議題
 - (1) 「歯と口の健康について」
 - (2) 情報交換
5. その他
6. 校長より
7. 閉会

〈配布資料〉

資料 1：学校保健委員会規約（改訂版）

資料 2：ビデオ放映「歯と口の健康について」の関係資料

平成29年度学校保健委員会記録

平成30年2月8日(木) 14:00～15:00

大阪府立住之江支援学校 図書室

出席者：15名

校長、教頭2名、学校歯科医、学校薬剤師、PTA 役員副会長、PTA 健康教育委員2名
養護教諭2名、学部主事1名、保健主事3名、健康教育部長)

司会：新井 記録：岡本

1 開会あいさつ

第二回の学校保健委員会を開催します。このあと「歯について」のテーマですすめていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。(校長)

2 委員紹介

3 規約改定について(別紙参照)

第3章 第4条3行目にPTA 健康教育委員を追加する。平成29年10月20日より施行。

4 議題

(1)「歯と口の健康について」資料

資料に沿って説明。本校の児童、生徒に歯肉炎は見られなかったので、今年度、むし歯についての取り組みを集中的に行った。少しずつ取り組みの成果があらわれている。

(養護教諭)

・けんこうタイム DVD 放映

歯と口の健康をテーマにDVDを作成し、お昼休みに放映。歯に関する問題をクイズ形式で生徒が出し、学校歯科校医の先生が解説するという内容。

・中学部1年・高等部1年対象に歯磨き指導を実施

学校歯科校医の先生に歯磨き指導を行ってもらった。パワーポイントを使用して歯の形や本数等について説明された。その後、説明された内容についてのクイズを出題された。

・小学部児童対象に歯磨き指導を実施

大阪府歯科衛生士会より3名の歯科衛生士の方に来ていただき歯磨き指導を行ってもらった。エプロンシアターやパネルシアターで歯磨きの大切さや、健康で丈夫な歯にするためには好き嫌いなく食べることを説明された。その後、各グループの児童に対して、一人ずつ歯の状態を見てもらい細かな歯磨き指導を行ってもらった。

(2) 情報交換 (学校医との質疑応答)

Q1、エナメル質がだんだん薄くなることがあるが、むし歯以外でもなるのか？減ったエナメル質を増やすことはできるのか？

A1、歯ぎしりでも減ることがある。減ったエナメル質は元にもどすことはできないので、代替りのもので治療する。

Q2、知覚過敏は遺伝するのか。また治すことはできるのか？

A2、体質と同じで歯の質も遺伝するので、知覚過敏そのものが遺伝というより、歯の質の問題と考えられる。知覚過敏を改善するためには歯の表面を強くすることが効果的。フッ素塗布や、フッ素含有の歯磨き粉を使うのが良い。

Q3、歯磨きが苦手な子どもたちがいるが、歯磨き以外で歯の健康を保つのに効果的なものはあるか？

A3、うがい薬やマウスウォッシュでのうがいは効果的である。しかし歯垢の除去はブラッシングでしかできない。

Q4、むし歯が小、中学部では少なく、高等部で増えるのはなぜか？

A4、特別支援校に限らず、小学生、中学生の間は DMF 指数が低いが、高校生では高くなっている傾向が見られる。(養護教諭)

高校生くらいになると自分で自由に食べたいものを買入できたりするので、食生活の問題もあると思われる。(校医)

Q5、ネグレクト気味の子どもたちの歯の衛生状態が悪いように思うがそのような傾向はあるのか？

A5、あると思われる。オーラルに関するケアも必要である。

6 校長より

今回、ご助言いただいたことをまた今度の指導につなげていきたいと思えます。

柳田先生が今年度で最後となります。ご尽力いただきありがとうございました。今後何かありましたらご指導をいただきたいと思えます。

7 閉会

次年度の健康課題については現在検討中。決まり次第報告します。

以上

学校保健委員会資料

今年度の健康課題を『歯と口の健康について』と設定し、それに沿った取り組みを進めてきました。最初に、本校の子どもたちの歯と口の実態について説明します。

表1～4は、柳田先生による歯科検診の結果をグラフで示したものです。

表1は、検診で未治療のむし歯が見つかった人が、201人中56人いたことを示しています。治療が必要な人が27.8%いるということです。

表2は、今までにむし歯になった経験のある人が、201人中79人(39%)いることを示しています。

今年度の文部科学省の学校保健統計調査によりますと、小学校47.06%・中学校37.32%・高等学校47.3%の人がむし歯になった経験があるということです。比較しましたら、本校の子どもたちの歯は良い状態だといえます。

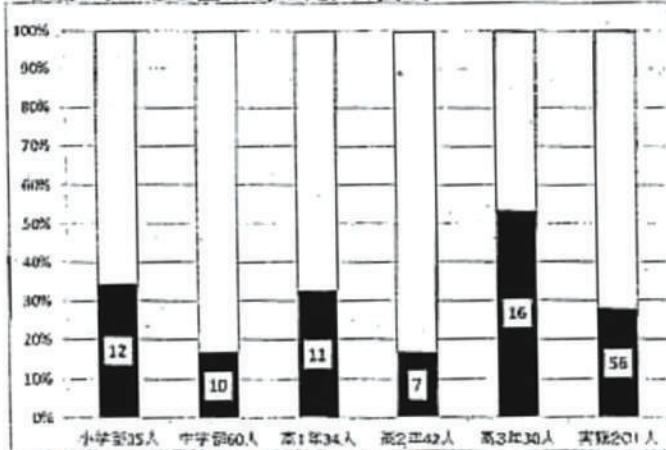
しかし、高等部3年生に限ってみますと67%の人がむし歯になったことがあり、良い状態とは言えません。

表3・表4は、現在の高等部3年生(17歳)が2年前と比べて未処置歯数が44本から60本に増え、1人あたりの平均のむし歯経験数(DMF指数【注】D・未処置のむし歯・M・むし歯による喪失歯・F・充填歯)も、3.81本から4.2本に増えていることを示しています。むし歯の本数が増えているのに、治療していないことが伺えます。

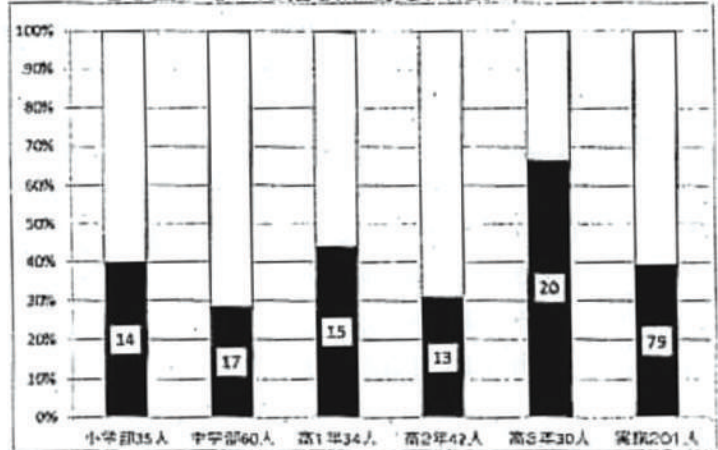
今年度の文科省統計では、小・中学校のDMF指数は0.82、また平成27年度の大阪市立高等学校3年生の指数は2.25で、これらと比較してみても本校の高等部3年生の指数は高いといえます。

表5は、治療状況について示したものです。検診後に治療勧告書を出し平成30年1月10日までに、むし歯の治療を終えた人の割合と人数を示しています。約41%の治療率となっていますが、これはむし歯の治療に限定したもので健康診断やその他の目的の受診も含めると、例年より受診率は高くなりました。(例年平均受診率30～40%)

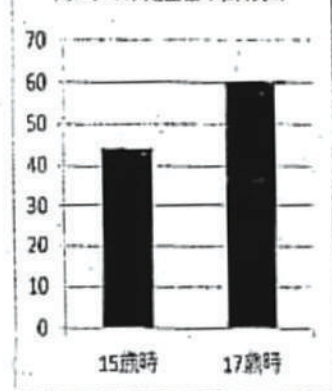
検診時にむし歯があった人(表1)



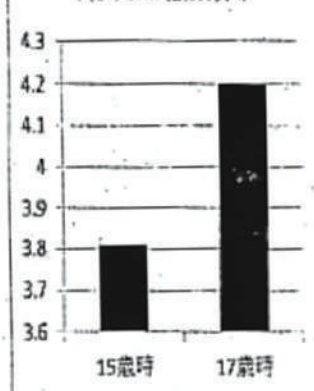
むし歯になった経験がある人(表2)



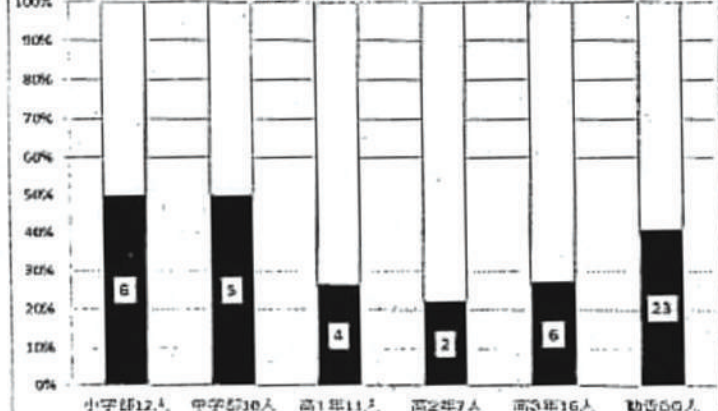
高3年の未処置歯本数(表3)



高3年DMF指数(表4)



治療状況(表5)



次に、今年度の歯と口の健康についての取り組みを説明します。

1. 歯みがき指導の実施

歯科校医の先生に、中学部1年と高等部1年を対象として実施していただいています。この取り組みは昨年度から始まりました。小学部を対象とした歯みがき指導は、今年度から歯科衛生士の方に実施していただきました。

2. けんこうタイムの実施

歯と口の健康をテーマにDVDを作成し、お昼休みに放映しました。

DVDの構成は、子どもたちがテーマに沿った問題をクイズ形式で出しみんなで考えて答え、学校歯科校医の先生が解説するというものです。

けんこうタイムの問題は次の5問です。

問1. ぶつかったり、転んだりして歯が抜けることがあります。抜けた歯を助ける方法は次の3つのうちどれが正しいでしょうか？

1. ハンカチやティッシュに包む
2. 歯の表面を消毒薬でふく
3. 牛乳の中に入れる

問2. むし歯になりやすいおやつは、次の3つのうちどれでしょうか？

1. キャラメル
2. キシリトールガム
3. りんご

問3. スポーツ選手は歯をととても大切にしています。その理由は次の3つのうちどれでしょうか？

1. 顔をカッコよく見せるため
2. 歯をくいしばって力をだすため
3. 歯みがきのコマーシャルに出たいため

問4. 自分の歯でかむ力を100とすると、入れ歯でかむ力は次の3つのうちどのくらいになるでしょうか？

1. 100 自分の歯と同じ力
2. 50 自分の歯の半分の力
3. 25 自分の歯の4分の1の力

問5. むし歯はいつできやすいでしょうか？

1. 朝起きたとき
2. 勉強しているとき
3. 寝ているとき

放映は11月13日から17日の5日間行いました。